

今月のトピックス

- ・もう一度確認しよう!.....《かづの北限の桃知識》
- ・重要!!インターナルブランディング《鹿角ブランドアップ戦略レポート》
- ・つながって強くする.....《鹿角のヒト情報》
- ・かろうじて.....《室長のコラム》

かづの北限の桃を知る

鹿角の晩夏、初秋の風物詩としても定着してきた「かづの北限の桃」ですが、次の問いに正しく答えられますか?収穫最盛期を迎えた9月、この機会に正しく「かづの北限の桃」を知って活用しましょう!

Q1:「かづの北限の桃」の名称の中で、商標登録しているのは次のうちどれでしょうか。

- ①「かづの北限」 ②「北限の桃」 ③「かづの北限の桃」

Q2:「かづの北限の桃」と呼ばれる桃の品種は数種類ありますが、主力品種は次のうちどれでしょうか。

- ①あかつき ②川中島白桃 ③西王母

Q3:「かづの北限の桃」と呼んでいる鹿角産の桃は平成22年度どれくらい収穫されているでしょうか。市場出荷ベースでお考えください。

- ①約100トン ②約180トン ③約230トン

Q4:「かづの北限の桃」と呼ばれる鹿角産の桃は年々生産者が増えています。平成23年度の生産戸数(JAかづの北限の桃生産部会登録)は次のうちどれでしょうか。

- ①約80戸 ②約120戸 ③約160戸



《正解と解説》

Q1:正解①「かづの北限」

加工商品等でも「かづの北限の桃使用」等と表記する場合は、JAかづののに相談し生産部会の了承を得る必要があります。

Q2:正解②川中島白桃

あかつき、黄金桃、西王母といった品種も出荷されていますが、川中島白桃は全体の収穫量の約8割とダントツで生産量が多く、味、食べ応え、甘さ共に人気で主力の品種です。

Q3:正解③約230トン

そのうち約60トンがジュース等の加工用に転用。この約230トン以外に味は変わらなくてもちょっとの傷や色が悪い等の理由で処分する桃もあり、こうした桃のいかし方も課題の一つです。

Q4:正解③約160戸

地区別には花輪、大湯、十和田の順に多く、年々増加傾向にあります。

【鹿角ブランドアップ戦略レポート】

鹿角ブランドアップ戦略の中で策定メンバーから提案された3つのプロジェクト。その取り組みを毎月レポートします!

コミュニティFM プロジェクト

9月9日、総務省東北総合通信局を訪問、開局準備チームが作成した基本計画書を基に第1回目のアドバイスを受けました。

免許の交付にあたっては、末永く運営している体制づくりになっているかが重要なポイント。免許交付までの長い道のりを一步一步着実に進めていく必要があります。基本計画書はこの一步一步の歩み行く先、方向性をまとめたもの。鹿角のための、地域密着型の運営、放送を目指して放送局のコンセプトや経営・放送理念を示したものです。

コミュニティFMを通じて、いろいろなモノ・ヒト・情報が友達で笑顔が続き、活力のある安心・安全なまちの創造に寄与したい。このコンセプトに基づき、今後は具体的な事業計画書等の作成に取り組みます。



桃 花 プロジェクト

8月23日に農業支援センター加工研修室にて、「実際に桃の加工をしてみよう!」と桃のコンポート缶詰、桃ジャムの瓶詰め等を行いました。

事前に入手した原料はいわゆる「はじき桃」。市場に出荷できない傷物等で、これまでのワークショップでも毎年多量に処分しているという現状が明らかになったことから、活かす方法を探ろうとこの日の加工に至りました。

シンプルな材料で化学調味料等も一切使わず、どこまで本物の桃の風味を生かした缶詰ができるのか、さらに桃加工で最もリスクとされている皮むきと種取り作業の効率化も大きな課題です。今月9月は収穫の最盛期を迎えましたが、収穫数量等の正しい把握と出荷状況等の確認に努め、来年度の商品化に向けた具体的な活動へと進められます。

米 粉 プロジェクト

米粉を活用したり、それを推進する関連事業所等との会合が9月6日に開催されました。会ではこれまでの米粉に関する取り組みや商品を紹介し合い、それまで個々であった活動を今後は連携して取り組み一層加速、強化させるための事項等について検討。まずは米粉の魅力を地元浸透させる取り組みを実施する方向で合意が図られました。

～かづの短角牛の魅力～

「牛一頭家」オーナーシェフ金光詰さんにうかがいました

東京都墨田区吾妻橋でこだわりの焼肉と韓国料理を提供するお店「牛一頭家」(うしいっとうや)。オーナーでもありシェフでもある金光詰さんが8月下旬、来鹿されました。

「牛一頭家」ではあか牛(和牛)を中心に、今年度からかづの短角牛の内臓と一部の部位を提供しています。金さん念願だったという視察では実際に牧場にも出向き、自然豊かな中でのびのび放牧されている姿に感動の様子でした。

「霜降りには飽きやすいですよ。短角牛は飽きないからお客さんは大抵予想より食べ過ぎた～と言っています。」と言うとおり、金さんのお店でも人気の短角牛。

金さんの韓国の実家は肉屋。和食も好きで、韓国で働いた和食店の縁で18年前日本に渡るも言葉の壁を感じて韓国料理店に転職、今に至っている金さんですが、美味しい肉とその食べ方への探究心は家業も相まって人一倍。特に短角牛に対する想いも強く、お店での短角牛の人気の高さを新たなメニュー展開も視野に入れて来訪されました。

その金さんはかづの短角牛について「内臓、一部の肉を扱ってると内臓が健康だと思う。育て方、環境がいいから内臓の味もいいのだと思う。熟成させてももっと美味しくなる魅力的な肉だと思う」と高く評価。視察中もやっぱりすごい環境で育っていると感心しきり。

金さんは日本全国、様々な牧場、牛舎を訪ね自分の目と耳で得た情報も基にして食材を選んでいます。今回の視察でかづの短角牛の可能性を一層強く感じていました。

「短角牛は人気が高い。リピーターが求めるのも大抵赤身のお肉です。もっと美味しく楽しんでもらいたいと思っています。」と終始熱く語る金さんでした。

人気が高まっているかづの短角牛。出荷している秋田県畜産農業協同組合鹿角支所では地元での消費拡大も積極的に進めたいとのことで、地元における認知度や理解度を一層高めるためのイベント「かづの畜産まつり」を今年も開催します。

この機会にぜひ地元産品への理解を深め、その可能性を探ってみませんか。

「かづの畜産まつり」とき:平成23年10月16日(日)とこ:秋田県畜産農業協同組合鹿角支所(かづの畜協)Tel 0186-25-3311



PEOPLE of 鹿角 ヒト情報

～リレー方式で鹿角人(かづのびと)をご紹介します～

《株》青山精工: 青山 健哉さん

精密部品、セラミック等の加工でオンリーワン企業を目指し邁進中の株式会社青山精工代表取締役。経営塾の「盛和塾」にも参加し、経営ノウハウの習得や人脈づくり等、今も仕事に対する真摯な姿勢を貫く青山さんは、「ものづくりネットワークかづの」(以下「MNK」)の代表でもあります。

「少量でもここでしか出来ない、ここならできる、と言われるモノづくりで勝負したい。最近はドイツ工業のやり方、考え方が気になって、勉強中。視察もしたい。」と意欲的な青山さんですが、お話をうかがっていると社長と職人的な表情が交錯します。



「MNK」は平成20年5月に設立。それまで単独でしか生み出せなかった製品から付加価値のある、鹿角企業の魅力を十分に伝える製品づくりを目指そうと、鹿角の優れた技術を持つ企業が手を取り合い生まれたネットワークで、今年度は若手従業員を中心に、「たんぼ小町メカ」づくりにも取り組んでいます。

「MNK」の今後については、「(製造を)海外に向けるのが当たり前の中で円高やTPPといった現在の世界情勢を考えても、これまでの考え方では生き残れないと思っている。農商工親連携が進められているが、このネットワークが果たすことができる役割を積極的に見つけて実績を重ねたい。そのためにもこのネットワークの活動をもっとPRできる専門的研究組織等があれば…」と先を見据えた眼差しに。

「とにかくやってみる。やってみなきゃわからない。若い人にもチャンスを与えたいしな。」そう力強く笑顔で話す青山さん。「MNK」の今後の取り組みもますます期待されます!

かづの産業見合市 出展者説明会

とき 平成23年10月5日(水) 18:00～19:30

会場 鹿角市交流センター 講堂

※詳細なご案内は出展者向けに別途ご連絡申し上げます。

【鹿角の観光情報もチェックしていますか?】 鹿角は9月10月もイベント目白押し。県外からのお客様も多く、あなたのあれも!PRするチャンスかもしれません!

花輪線全線開通80周年号運行!!

花輪線は地元の人々に郷愁を誘う鹿角を象徴するローカル線ですが、昭和6年10月17日に全線開通し、今年で80周年を迎えました。これを記念して、10月リゾート列車Kenji号で黄金の稲穂輝く沿線の景色を楽しむイベントが開催されます!また沿線市町村でも様々なイベントが開催されます。



とき 10月8・9・10日の3日間 「イメージキャラクター 彩ちゃん」
花輪線全線開通80周年号運行(鹿角花輪～盛岡間)
運行時刻 《下り》10:55盛岡発→12:51鹿角花輪駅着
《上り》15:45鹿角花輪駅発→18:13盛岡駅着
※途中停車駅(青山・厨川・巢子・滝沢・渋民・好摩・大更・平館・安比高原・荒屋新町・田山・湯瀬温泉)
※料金は通常の花輪線・IGRいわて銀河鉄道料金
詳細 「花輪線利用促進協議会」
HP⇒<http://hanawasen-ni-norouyo.org/>

鹿角観光ファンクラブってご存知ですか

平成12年から市が実施しているこの制度は市外在住の方が対象。現在全国に約4,000人のファンが登録。登録(無料)すると会員証のほか、市内の観光施設や宿で特典が受けられる「ファンパスポート」が無料でもらえたり、特別なプラン・料金で参加できるツアーのお知らせ、鹿角の観光情報を定期的にお届けする等「鹿角が好き」「鹿角に頻繁に行く」方にお得で嬉しい制度となっています。市外からよく来るあの人に、この制度オススメです!ファン登録はこちら⇒<http://shikanoantenna.com>
(TOPページ下のバナーから)

10月は紅葉!温泉!山の幸!

鹿角の主力観光シーズンである10月。美しい紅葉だけでなく食、温泉、地元ならではの出会い・交流、体験、感動を求めて多くのお客様が鹿角を訪れます。昨年(1月～12月)の鹿角市の観光客(入込客)数は約213万人。うち8月から10月は約94万人。市外での宣伝も大いに必要ですが、この時期の市内でのPRも重要ですね。さあ!来訪するお客様や地元の方々に感動を提供してみませんか。そしてお出かけするなら鹿角のイベントへもぜひ!

山海の大物産展 とき:10月8日～10日 ところ:道の駅かづの
主催:十和田八幡平観光物産協会 ☎0186-23-2019

花輪かっぱ軽トラ市 とき:10月9日 ところ:花輪駅前中央通
主催:花輪まっかっぱ実行委員会 ☎0186-22-0050(かづの商工会)

かづのタートルマラソン とき:10月10日 ところ:鹿角市総合運動公園(花輪スキー場)
主催:鹿角市教育委員会スポーツ振興課 ☎0186-30-0297

かづの畜産まつり とき:10月16日 ところ:秋田県畜産農業協同組合鹿角支所 特設会場
主催:秋田県畜産農業協同組合鹿角支所 ☎0186-25-3311

大湯滝めぐり とき:10月23日 ところ:大湯支所前集合
主催:ルート103委員会 問:十和田八幡平観光物産協会 ☎0186-23-2019

2011全国ジュニアサマーノディック大会in鹿角 とき:10月28日～30日
主催:鹿角市、秋田県スキー連盟 問:鹿角市教育委員会スポーツ振興課 ☎0186-30-0297

きりたんぼ発祥まつり とき:11月6日 ところ:道の駅かづの
主催:発祥の地鹿角きりたんぼ協議会
問:十和田八幡平観光物産協会 ☎0186-23-2019

☆鹿角市内の観光・イベント情報は鹿角市観光交流課
(☎30-0248 メールアドレスkankou@city.kazuno.lg.jp)が毎月FAXまたはメールにて配信しています。ご希望の方はお気軽にお申込ください。

400字のつぶやき ～コラム～

「お見合い」…何だかドキドキ、ワクワクする。どんな素敵な人と出逢うことができるのか。いざ出席してみると、初めて逢ったヒト同士はこんな素敵なヒトがいたんだなあ～と思う時もある。たまたま前から軽く知っていたけれども、じっくり話してみたら、意外にいいヒトだなあ～と、今まで気づかなかった魅力に気付くこともある。今秋、「かづの産業見合市」を開催することとした。本市には多種多様な資源を活用し

た良質な商品やそれを支える優れた技術力が集結している。しかし、そのヒトがその会社のヒトであることは知っていても、その会社で何をやって、どんなものが作られているかは意外に知らない。先月開催した首都圏高級スーパーとのミニ商談会の席上、商談話しもさることながら、「へえ～これ、ここで作っているんだ」という出展者同士の声が聞かれた。意外な出会いから、化学反応が起こり、新たなアイデアが生まれ、ヒット商品やビジネスに繋がる事もある。「一目会ったその日から、ヒットの花が咲くこともある…」まずは、出逢うこと。そこから全てが始まる。(ブラードル)

【発行元】

発行 鹿角市産業連携推進室

電話 0186-30-0264

FAX 0186-30-1515

メール renk@city.kazuno.lg.jp

Twitter@KazunoRenk

Facebookページ 鹿角の【ヒト・モノ・ワザ】

